

府養研ニュース

2004年7月号

このページでは要点だけをお知らせしています。
追加記事は、本ページのリンクをクリックください。新しいウィンドウが開きます。

府養研ニュースは各種案内等の事務連絡と一緒に、毎月第1月曜日にEメールで配布されています。第1月曜が祝日であれば火曜日発行になります。来月8月は2日発行です。一部メール網がまだ整備中もしくは検討中の市町村は、郵送または遞送されています。アドレス変更の学校は旧アドレスと新アドレスをメールで教えてください。

平成16年7月5日発行 大阪府養護教育研究会(広報部)
事務局 豊中市立南桜塚小学校 会長 西田 益久 〒561-0882 豊中市南桜塚2-2-1
問い合わせ・ご意見は、Mailでて本部役員()までお願いします。

府養研から

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp/>

- ニュースの全部とバックナンバーもご覧になれます。
- 各支部のページを作っています。ご覧ください。各支部広報の方はふるって記事を投稿ください。

ご注意 依然としてウィルスメールが蔓延しています。対策は万全ですか？

役員総会(本部役員・支部役員のみ 今年度役員の方、ご予約ください)

- 第2回平成16年9月9日(木)午後3時～5時 アウィーナ大阪3階生駒の間
- 第3回平成17年1月13日(木)午後3時～5時 アウィーナ大阪3階生駒の間

府養研主催の障害者ケアマネジメント夏期研修会

- 平成16年8月9日(月)～12日(木) 午前10時～午後5時 たかつガーデン
- 詳細案内は各支部代表に既に送付しました。各支部から選ばれた方が参加します。

研究部から

**OICT活用
プロジェクト**

夏季講座の予告 日時 8月16日・17日9:30～17:00

テーマ「2学期から役立つICT活用」

大杉成喜(国立特殊教育総合研究所)、廣瀬正彦(こ・めでいあセンター)
ほかの講師陣にお願いし、3時間を一こまに数多くの講座を持ち、参加者が講座を選んで受けていただけます。案内添付。多数ご参加ください。

○自閉症教育プロジェクト6月定例会終了	日時:2004年6月30日(水)午後4時～ 会場:豊中市教育センター研修室(ルシオーレ6階) 内容:「自閉症の障害特性の理解に基づく対応の工夫」 講師 金井孝明(自閉症プロジェクト事務局・堺市立百舌鳥養護学校教諭)
○自閉症教育プロジェクト講演予定	予告 2005年2月24日(木)14:00～16:30 場所 サンスクエア堺(勤労者福祉総合センター) 高機能自閉症およびアスペルガー症候群の理解と教育現場での対応への示唆 講師 内山登紀夫先生(児童精神科医、よこはま発達クリニック)が予定されています。

行事部から

施設見学研修 昨年度と同じ場所	2004年8月25日(水)8:15集合～18:00解散予定 滋賀県立近江学園 甲西町発達支援センター 案内添付 〆切7月30日
--------------------	--

研修部から

実技研修会	2004年8月27日(金)10:00～16:00アウイーナ大阪 講師 象の会(内藤・松永・朝井の各先生) 案内添付 〆切7月30日 いろいろな楽しい作品を作っていただけます。案内をご覧ください。
教育講演会	平成16年9月2日(木)14:00～ 大阪府教育センター 大ホール 大阪の養護学級の今後 ―「特別支援教育」構想などの分析を通して― 講師 大阪教育大学教授 大沼 直樹 案内添付 申し込み不要

広報部から

2003年度研究紀要	CD作成中です。配布しばらくお待ち下さい。
2004年度研究紀要	現在、各支部で論文執筆者選定中です。執筆者の決定は支部で行ないますが、特に執筆を希望する会員の方は各支部の広報担当に申し出てください。 盲・聾・養護学校の方は本部にメールください。 内容「特別支援教育関係の論文」 稿料はありません。府内各校にCDに焼かれて配布、ホームページでも紹介されます。パワーポイント等もCDに焼き込めます。フラッシュ等の作品、教材の写真等も募集します。

各支部から

各支部のページが府養研ホームページ内で独立したホームページになります。

今後、支部のニュースはそこに順次アップされます。

行事案内や報告等も載せられていきます。

中河内支部	中河内支部総会 記念講演「特別支援教育について」有山陽子指導主事
	東大阪市養研 林間学舎おこなわれる

情報提供(他団体から)

リンクはすべて新しいウィンドウで開きます

日本支援教育実践 学会主催(JASEN) シンポジウム案内 添付	■テーマ「特別支援教育をこのように皆で充実したい」 ■日時 2004年8月7日(土)午後1時30分-4時 ■会場 阪南パレード(大阪市教職員互助組合厚生施設) ■シンポジスト(話題提供者) 宮本裕美子氏 大阪AD/HDを考える会<のびのびキッズ 浜崎仁子氏 和泉市立鶴山台南小学校教諭 朝野 浩氏 京都市立西総合養護学校長 西谷 淳氏 甲賀郡甲西町立三雲小学校教諭 安原昭博氏 関西医科大学附属香里病院小児科医師 須田正信氏 大阪府教育センター特別支援教育研究室室長 司会 栢木隆太郎氏(大阪市教育センター研究官) http://www.ceser.hyogo-u.ac.jp/naritas/jasen/sympo2004.html
全特連	http://www5f.biglobe.ne.jp/~zentokuren_h/
近特連奈良 2004. 8. 5(木)	http://www.eonet.ne.jp/~ues/kintokunara/
全国病弱研全国 滋賀	http://www.kodomo.co.jp/zenbyoken9/
全国肢体不自由研 和歌山	http://www.nanki-sh.wakayama-c.ed.jp/zensiken/annai1.htm
日本肢体不自由研	http://www.normanet.ne.jp/~nishiken/youkou.html

その他、府養研ホームページの[リンク集](#)や[情報コーナー](#)もご覧ください。

平成16年(2004年)7月5日

大阪府養護教育研究会会員 様

大阪府養護教育研究会

会長 西田 益久

府養研ICT活用プロジェクト夏期講座

大阪府養護教育研究会ICT活用プロジェクト夏期講座を下記の要領で実施いたします。

今年度は、「二学期から役立つICT活用」をテーマに複数の講座を設定しました。内容も教材等作成講座、機器等の改造や自作講座、活用事例などさまざま。ニーズ、興味・関心、ご都合等に合わせて、講座を選んでご参加ください。

また、参加者や講師陣が持ち寄った、自作機器等展示コーナーも設置します。

お盆の時期ではありますが、多数の方々の参加をお待ちしております。

記

1. テーマ 2学期に役立つICT活用
2. 日時 8月16日(月)・17日(火) 9:30～17:00
3. 会場 大阪府立堺養護学校 <http://www.osaka-c.ed.jp/sakai-y/>
堺市東上野芝町1-71 tel 072-241-0288
JR百舌鳥駅下車、線路沿いに南へ約10分
公共交通機関のご利用をお願いします。
4. 参加費 無料(ただし、材料費等が必要な場合があります)
5. 申し込み 準備等の都合がありますので、できる限り、8月7日(土)までに
 - 1) 氏名・所属
 - 2) 連絡先(e-mail・fax・tel)
 - 3) 参加講座記号を明記の上、mailまたはfaxにて下記までお申し込みください。
なお、自作機器等展示コーナーは申し込みいりません。
6. 申し込み先 田村真一(高槻市立養護学校)
問い合わせ mail ict@fuyouken.visithp.jp
fax 072-681-7922
tel 072-681-7910
問い合わせはできる限り、e-mailにてお願いします。

7. 講座

講座は、両日とも午前の部（AM）9：30～12：30、午後の部（PM）14：00～17：00の時間帯で設定しておりますが、講座によっては、複数の時間帯にまたがるものもございます。各講座の時間帯をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

講座一覧（印の時間帯にその講座がもたれます）

講座		16日(月)		17日(火)	
記号	講座名	AM	PM	AM	PM
A	あなたも作れるFlash教材				
B	デジカメで撮った一枚の写真があれば、クイズムービーやおはなしムービーが簡単に作成できる！ ～デジカメ撮影の基本テクニックからデジタルビデオ編集による教材作成の魅力まで～				
C	障害のある子どもたちとパソコンソフト				
D	Webの世界はお宝いっぱい				
E	教育と子どもの自発性を引き出す工夫 保護者の立場から				
F	作ってみよう3Dスライドショー				
G	ペンタブレットっておもしろい				
H	表出言語が数語である重度の知的障害を伴う自閉症児のAAC手段を用いた主体的な表出行動の形成				
I	機器の改造・自作講座				
J	機器の改造・自作講座				
	自作機器等展示コーナー				

講座内容

以下、各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参するもの等の記載がございますので、よくお読みください。

講座内容の詳細は、順次HP（<http://fuyouken.visithp.jp/ict.htm>）にて公開しますので、そちらもご覧ください。

講座A	16日（月）・17日（火）9：30～17：00
講座名	あなたも作れるFlash講座
コーディネーター	大杉 成喜 先生（国立特殊教育総合研究所主任研究官）
講師	神佐 博 先生（石川県立七尾養護学校教諭） 金子 由紀子 先生（箕面市立第五中学校教諭）
内容	MacromediaFlashってご存じですか？Webページでよく見られるアニメーションはFlashで作られていることが多いですね。Flashを使った自作教材も増えてきました。

本講座ではFlashで教材づくりをします。プログラムが苦手な人もご安心下さい。おまかなスクリプト(プログラム)はこちらで用意します。(「豪華講師陣」が対応いたします。)

受講者の皆さんはどんな教材を提示をしたら子どもが興味関心を持つかを考えていただきます。(こればかりは担任でないとわかりませんからね。)

演習ではタブレットで絵を描いて、用意されたプログラムを組み合わせると、簡単に教材が作れちゃいます。

備考

• Macromedia Flash MX または、以下のFlashサイトから30日間無償トライアル版をインストールしたパソコンをご持参ください。

Flash公式ホームページ <http://www.macromedia.com/jp/software/flash/>

• なお、お二人の講師陣のFlash教材等のHPは以下です

神佐 博先生 KanzaSoft2003 <http://www5.nsk.ne.jp/~h-kanza/>

金子 由紀子先生 くるくるクリック <http://homepage.mac.com/terumai/>

講座B	16日(月)9:30~17:00・17日(火)9:30~12:30
講座名	デジカメで撮った一枚の写真があれば、 クイズムービーやおはなしムービーが簡単に作成できる！ ～デジカメ撮影の基本テクニックから デジタルビデオ編集による教材作成の魅力まで～
講師	廣瀬 正彦氏(こ・めでいあセンター代表)
内容	<p>Ulead VIDEO STUDIO 8とデジカメ一台で認知教材(ムービー)を作りましょう。</p> <p>(1)先生の全身写真一枚を撮影。</p> <p>(2)Ulead VIDEO STUDIO 8というソフトを使って、一枚の写真の中で足の方からチルティングしたり顔や手の一部分からパンニングしていった「さて、誰でしょう？」なんてクイズムービーを作成</p> <p>(3)持ち帰って授業で手軽に活用出来るよう、そのままPC内にビデオファイルを生成したり、ビデオテープやCD-Rに録画しましょう。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> デジタルカメラ(もしくはデジタルカメラ機能のついたデジタルビデオカメラ) 撮影した画像データを取り込めるパソコン (直接ケーブルでデジタルカメラと接続して画像を転送できるかデジカメのメモリーカードを挿入できる内蔵スロットないし外付けのメモリーカードリーダーが動作するパソコン) そのパソコンにCD-ROMからソフトをインストール出来る環境が整っていること。出来ればCD-Rドライブが使える記録用メディアも用意していただくと理想です。 使用ソフトの要求スペックから、パソコンはWindowsXPでPentiumIII800MHz以上、メモリ256MB以上、ハードディスクの空き容量5GB程度必要。推奨環境はPentium4以上のCPU、512MB以上のメモリです。 <p>まあ、でもスペックにこだわらずとりあえずやってみましょう。何とかありますよ。</p> <p>廣瀬 正彦氏が代表をされてるこ・めでいあセンターのHPは以下です。 http://www.kcn.ne.jp/~booboo/</p>

講座C	16日(月)9:30~12:30
講座名	障害のある子どもたちとパソコンソフト
話題提供	坂下 和子 先生(豊中市立東豊中小学校教諭)他
内容	
<p>パソコンはあるんだけど……。使わせたいんだけど……。 子どもたちに使えるソフトがなかなか見つからない。 ソフトを買ってはみたけどお蔵入り。 なんかいいいソフトないかしら……。 実際に子どもたちに使ってみたり使えそうなソフトの紹介や使い方のアイデアを、実際にソフトを見てもらいながら、一緒に考えていきましょう。</p>	
備考	
学校で活用されているソフトがありましたら、ご持参いただければと思います。	
講座D	16日(月)14:00~17:00
講座名	Webの世界はお宝いっぱい
話題提供	田村 真一 先生(高槻市立養護学校教諭)他
内容	
<p>Webの世界を散策してみると、子どもに使えるようなお宝がいっぱい。 障害のある子どもたち向けに作られたソフトや教材も紹介されていたり、子どもたちが楽しめるようなサイトも探してみればたくさんあります。そういう子どもたち向けに作られたサイトだけでなく、いろんなサイトが子どもの興味・関心とリンクしたとちょっとしたアイデアで教材にはやがわりすることも……。、そんなサイトと使っている様子も紹介します。 また、参加者どうして、サイトを出し合ったり活用方法を出し合ったり……。</p>	
備考	
学校で活用しているサイト名を書きとめてきてきていただければと思います。	

講座E	17日(火)9:30~12:30
講座名	教育と子どもの自発性を引き出す工夫 保護者の立場から
話題提供	小林 整 氏(保護者)
内容	
<p>パソコンを知的障害のある子ども達に触れさせる場合、様々なハードルが待ち受けています。 落ち着いて座ってくれない/マウス・キーボードが難しすぎる/教えようとしても理解させるのが難しい/パソコンをすぐ壊される・・・等々。 しかし子ども達は「ボク達だってパソコン使いたい!」と心の中で叫んでいます。 これらの壁を乗り越えるために保護者自身が作り出した「かお型マウス」が、これらの難題をどうクリアしたか、また、子ども達が「自発的」にパソコンに取り組んだ時の歓声が、保護者や教育現場の方たちに、大いなる驚きと、潜在能力を過小評価すべきではないことを教えてくれた、などについてお話したいと思います。</p>	

備考	
<ul style="list-style-type: none"> 講師の小林 整 氏がつくられた「かお型マウス」は製品化されてます かおマウス http://www.stratogate.co.jp 講座の中で紹介されます、3Dスライドショーの作成を、講座Fで行います。 	

講座F	17日（火）14：00～17：00
講座名	作ってみよう 3Dスライドショー
話題提供	小林 整 氏（保護者）
内容	
<p>子どもたちに認識させるのが難しい立体モノが、パソコン上で回転する。子どもたちの認識に役に立つように思いませんか。そして何より、ちょっと楽しそう。</p> <p>今講座は、そんな、パワーポイントで作るカンタンな回転3Dスライドショーのワークショップです。</p> <p>撮影からパワーポイントでのスライドショーの作成を行い持ち帰ってもらいます。</p>	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに認識させるのが難しそう立体モノをご持参ください。 パソコン、デジカメは用意しますが、台数が限られます。 デジタルカメラやパワーポイントがインストールされてるパソコンをお持ちの方は、ご持参ください。 テレビ用の回転ベースや三脚もお持ちでしたらご持参ください。 	

講座G	16日（月）9：30～12：30
講座名	液晶ペンタブレットっておもしろい
話題提供	藤岡 聖典 先生（東大阪市立繩手南中学校教諭）
内容	
<p>手の動きとモニター画面での動きをマッチさせなくてはならないマウスは、子どもたちにとっては使いにくいもの。マウスが扱えたら、もっといろいろできそうなのに…。</p> <p>そんなときにふとであったのが、液晶ペンタブレット。液晶画面に直接ペンで書き込んだり、パソコン操作ができる、Mouseの難しさが解消されます。</p> <p>子どもたちと液晶ペンタブレットを使ったようすや活用のアイデアを紹介します。</p> <p>また、株式会社WACOMのご協力で液晶ペンタブレットを実際に参加者にも体験していただき、活用のアイデアを出し合い、共有しましょう。</p>	
備考	
<ul style="list-style-type: none"> 液晶ペンタブレット http://tablet.wacom.co.jp/solution/education/ 	

講座H	16日（月）14：00～17：00
講座名	表出言語が数語である重度の知的障害を伴う自閉症児のAAC手段を用いた主体的な表出行動の形成
講師	金井 孝明 先生（堺市立百舌鳥養護学校教諭）
内容	

知的障害を伴う自閉症児の自立活動領域での指導では、コミュニケーションと心理的な安定が指導区分として挙げられる場合が多いのではないだろうか。

AAC手段を用いた注意喚起行動の獲得、ならびに朝の会でのあいさつ係りの活動などでの自主的な表出行動の形成の過程について、事例報告を行ないます。

また、五大エンボディ株式会社のご協力を得、実際に活用した機器や関連機器等の詳しい紹介をしていただきます。

講座 I	17日(火) 9:30~12:30
講座名	機器の改造・自作講座
講師	大峠貴弘先生(大阪府立茨木養護学校 教諭) 大井 雅博先生(三重県立養護学校伊賀つばさ学園 教諭) 他
内容	Mouse改造やスイッチ作成、また、簡単に手に入るものでの自作機器作りなどetc改造したり作ってみると子どもたちに役に立つものがいろいろあります。 本講座では、実際に改造したり、自作をします。あんまり得意でない、って思わないで、ぜひ参加して子どもたちの世界を広げてください。 なお、講座J「機器の改造・自作講座」とは違うものを作る予定です。 実際に作るものは、決まりましたらHPにUPします。
備考	材料費等(実費)が必要です。

講座 J	17日(火) 14:00~17:00
講座名	機器の改造・自作講座
講師	大峠貴弘先生(大阪府立茨木養護学校 教諭) 大井 雅博先生(三重県立養護学校伊賀つばさ学園 教諭) 他
内容	Mouse改造やスイッチ作成、また、簡単に手に入るものでの自作機器作りなどetc改造したり作ってみると子どもたちに役に立つものがいろいろあります。 本講座では、実際に改造したり、自作をします。あんまり得意でない、って思わないで、ぜひ参加して子どもたちの世界を広げてください。 なお、講座I「機器の改造・自作講座」とは違うものを作る予定です。 実際に作るものは、決まりましたらHPにUPします。
備考	材料費等(実費)が必要です。

平成16年(2004年)7月5日

大阪府養護教育研究会会員 様

大阪府養護教育研究会
会 長 西田 益久

大阪府養護教育研究会(行事部)主催

施設見学研修のご案内

初夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は養護教育の振興と本研究会の発展のために格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年度も大阪府養護教育研究会主催の施設見学研修を下記の通り実施させていただきます。

昨年度、定員を大きく上回る申し込みがあり、残念ながら参加いただけない方が多数おられましたので、今年度の施設見学研修は、昨年度とまったく同じ内容で実施いたします。より多くの方に見学いただけますよう、昨年度参加されていない方のみの参加とさせていただきますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

また、特別支援教育の流れの中で、養護教育に携わる方に限らず、見学していただきたい施設でありますので、管理職、通常学級担任等を含め、多数のかたがたの申し込みをお待ちしております。

記

1. 日時 2004年8月25日(水)8:15 集合~18:00 解散予定
8:30 には出発しますので集合時刻厳守でお願いします。
2. 集合場所 JR 大阪駅北側 ヨドバシカメラ梅田店の西側、バス駐車場
行事部員が8:00 には集合場所近くに立ちます。
3. 交通機関 貸し切りバス
4. 定員 40名(府養研行事部員を含む)
昨年度参加されていない方を対象とします。昨年度参加された方はご遠慮いただきますようよろしくお願いいたします。
定員を超えた場合は、行事部で抽選させていただきます。
参加の可否については8月10日(火)までに原則勤務校に Fax
にて連絡させていただきます
大阪府立養護教育諸学校及び大阪府下(大阪市を除く)小・中学校の教師のみの参加とします。
5. 見学施設 滋賀県立近江学園 滋賀県甲賀郡石部町東寺4-1-1
甲西町発達支援センター 滋賀県甲賀郡甲西町夏見1857

6. 行程 JR 大阪駅前出発 (8:30) 近江学園 (10:30 ~ 12:30) 昼食
甲西町発達支援センター
昼食は、お弁当 (1000 円 : お茶付) を一括申し込みします。
7. 参加費 無料 (ただし、弁当代 1000 円 当日徴収)
8. 申し込み 7月30日(金)締め切り (厳守)
下記申し込み先まで、Fax にて申し込みください
必ず Fax にてお願いします。
9. 申し込み先 東大阪市立若江中学校 武藤 律子 Fax 06 - 6730 - 2455

切り取り線

東大阪市立若江中学校 武藤律子 宛

大阪府養護教育研究会主催 施設見学研修
申 込 書

8月25日(水)の大阪府養護教育研究会施設見学研修に申し込みます。

_____ 立 _____ 学校

名前 _____

学校の住所：〒

学校の FAX 番号：

なお、学校名、申込者の名前、学校の FAX 番号がわかるものであれば、この
申込書の形式でなくても結構です。

平成16年7月5日

学 校 長
養護教育関係者様

大阪府養護教育研究会
会 長 西田 益久

実 技 研 修 会 の ご 案 内

学期末のあわただしい時期、先生方もご活躍のことと存じます。
さて、例年実施しております府養研「夏の教材製作講習会」を下記のように実施いたします。ふるってご参加ください。

記

- (1) 日 時 平成16年8月27日(金) 10時~16時 (受付 9:30~)
- (2) 場 所 アウィーナ大阪 金剛東の間(4階) 他
〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町19番12号 (06)6772-1441
- (3) 講 師 象 の 会 (内藤 壽・松永 榮一・朝井 翔二 各先生)
- (4) 内 容 下記のお好きな教材を選んで製作していただきます。
は、参加者全員に作っていただきますが、当日は内容が少し変更になる場合があります。(費用は府養研で負担します。)

<p>繰り上がり計算機〔簡易型〕 子どもたちにとって難しい、繰り上がり計算を容易に理解できるよう考えた、ビジュアル教材です。鉄球を使った従来のものに代え、ビー玉を使ってうんと簡便なものにしてみました。</p>  <p><用意するもの> 材料費 1,500円 カッターナイフ、はさみ、30cm定規 千枚通し、 両面テープ(10mm幅) +ねじ回し</p>	<p>繰り下がり計算機〔簡易型〕 子どもたちにとってとりわけ難しい繰り下がり計算を容易に理解できるよう考えた、ビジュアル教材です。鉄球を使った従来のものに代え、木球を使ってうんと簡便なものにしてみました。</p>  <p><用意するもの> 材料費 1,500円、 カッターナイフ、はさみ、30cm定規、 千枚通し、両面テープ(10mm幅) +ねじ回し</p>
<p>パースディケーキ ろうそくを吹くと、音楽が流れる誕生会の必須アイテム。従来のものに改良を加え、火を使わず、安全で簡単に作れるものにしました。</p>  <p><用意するもの> 材料費 1,500円 半田ごてなど必要なものはこちらで用意します。</p>	<p>牛乳パック船・ガリガリ・ピンホールカメラ 今年は、身近なものを使って子どもと一緒に作ることができる簡単オモチャを3つ用意しました。</p>  <p><用意するもの> 材料費 合計100円 セロテープ、はさみ、カッターナイフ ホッチキス</p>

<p>仮名コロリン</p> <p>絵カードを箱に差し込むと、あら不思議、その頭文字が下から転び出てくるという、ちょっと変わった「文字学習オモチャ」です。</p> <p><用意するもの> 材料費 1,500円 カッターナイフ、はさみ、セロテープ、30cm 定規、速乾性木工用ボンド</p>	<p>赤いとり、ことり</p> <p>歌に合わせて、赤いリンゴを、鳥に食べさせるとたちまち赤に変身、もちろん黄色い実ならば、黄色に変身。簡単なしかけで、子どもたちが色に興味を持つ教材です。赤い三角、黄色い丸など、複合した概念の指導にも役立ちます。</p> <p><用意するもの> 材料費 1,500円 カッターナイフ、はさみ、透明両面テープ、+ねじ回し</p>
---	--



- (5) 準備物・費用 上表参照 **当日は、作品を入れる袋を各自ご持参ください。**
- (6) 申し込み方法 下記用紙にご記入の上、支部役員まで、**FAX** でお申し込み下さい。

支部名	役員名	学校名	FAX番号
豊能	渡邊かおり	池田市立 北豊島小学校	072-761-1297
三島	西村 久子	摂津市立 味舌東小学校	06-6383-8506
北河内	寺下 正樹	門真市立 浜町小学校	06-6902-2894
中河内	北山 美穂	八尾市立 曙川南中学校	0729-94-1419
南河内	小松 隆	富田林市立 第一中学校	0721-26-2308
堺	大村 葉子	堺市立 神石小学校	072-241-2158
泉北	北原 邦子	泉大津市立 上條小学校	0725-31-4992
泉南	河崎 裕子	貝塚市立 木島小学校	0724-46-3889
大阪市・その他	北原 邦子	泉大津市立 上條小学校	0725-31-4992

- (7) 申し込み締め切り 平成16年7月30日(金)
申込多数の場合は、抽選いたします。
- (8) 問い合わせ先 泉大津市立 上條小学校 北原 邦子 研修部書記
 TEL 0725-21-2006・7 FAX 0725-31-4992

.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....

申 込 用 紙	
送信先	() 学校 支部役員 () 宛 FAX番号 () () ()
申込者	() 様
学校名	() 学校
FAX番号	() - () - ()
希望作品番号に印	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6

申込を受付したことをお知らせするご案内は致しませんので、この用紙をご持参の上、当日会場へお越しください。
 会場の都合上、人数制限があります。残念ながら抽選にもれた方のみ、連絡させていただきます。

平成16年7月5日

各 学 校 長 様
養護教育関係者様

大阪府養護教育研究会
会長 西田 益久

教育講演会ご案内

大阪の養護学級の今後

「特別支援教育」構想などの分析を通して

講師 大阪教育大学教授 大沼 直樹

2003年3月の「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」を受けて、モデル事業の実施や教育支援体制の整備のための「ガイドライン(試案)」の作成など、特別支援教育への転換が図られようとしています。しかし、教育現場での理解は進んでいるとはいえません。制度や運営上の問題点も指摘されています。

今回の講演では、「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」と「小・中学校におけるLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン(試案)」の分析検討を通して、今後の大阪府の養護学級の方向性について提言や課題をお話いただきます。

日々養護学級、養護学校で奮闘されている先生方、特別支援教育に関心を寄せておられる方々に、現場の実情を踏まえての今講演で、大きい示唆が得られることと思います。

多数のご参加をお待ちしています。

平成16年9月2日(木) 14:00~

大阪府教育センター大ホール

〒558-0011 大阪市住吉区苅田 4-13-23

TEL 06-6692-1882

(地下鉄御堂筋線 あびこ駅下車 徒歩約10分)

(JR 阪和線 我孫子町駅下車 徒歩約15分)

お申込みの必要はありません。駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

問い合わせ先 研修部担当書記 北原 邦子

泉大津市立上條小学校 Tel 0725-21-2006・7 Fax 0725-31-4992

府養研本部からお知らせ

府養研ホームページに各支部のページを作っています。今後支部のニュースはそのページに載せさせていただき、新着情報を府養研ニュースでお知らせしますが、本文はメールでは送付しないようにいたします。今回はサンプル紹介の意味もあり、送付いたしました。

府養研 中河内支部総会行われる

平成 16 年 6 月 11 日、八尾のプリズムホールにて、中河内支部総会が行われました。記念公演として、府教委の障害教育課より、指導主事の有山陽子先生から「特別支援教育について」= 今後の特別支援教育の在り方について = の題で、お話しいただきました。巷では特別支援教育のいろんな情報が先走りして



いますが、府教委の姿勢は「現状を守っていく」ということと「新しく加わった対象児童生徒へのチームとして支援」ということが強く感じられました。府教委の取り組みは府教委のホームページでも見ることができます。大阪で培ってきたことが、今後も維持できるよう願っています。支部行事として、指導技術研修会、実践交流会、中学生屋内スポーツ大会も予定されています。

東大阪市養研主催 林間学舎行われる

さる 6 月 14 ~ 16 日、6 月 22 日 ~ 6 月 24 日、奈良県生駒市にある生駒山麓公園ふれあいセンターにおいて、東大阪市養研主催の林間学舎が行われました。1泊2日の校外学習です。学級の子も達の互いのつながりを深め、子どもをよく知るという目的で、毎年6月に行われています。他校の子も達と風呂、食事、プール、アスレチック、合唱等を共に楽しみ、友だちとの交流を深めました。
(中河内支部広報部)



日本支援教育実践学会主催 (JASEN) シンポジウム

趣旨

今回のシンポジウムは、行政や学校、親の会、医療関係者などが特別支援教育を皆で育て発展させるために、どのようにして力を合わせたら良いかを討議しあう機会とします。シンポジスト(話題提供者)の方々からは、取り組んでおられる試みや実践を語っていただき、参加者の方々からは、各自が実践している支援教育の課題や悩みなどを提起していただきたいと考えております。

どうか皆さんの参加をお待ちしております。

テーマ「特別支援教育をこのように皆で充実したい」

日時 2004年8月7日(土)午後1時30分-4時

会場 阪南パラドーム

(大阪市教職員互助組合厚生施設)

(地下鉄御堂筋線昭和町駅下車 南200mへ徒歩3分)

シンポジスト(話題提供者)

宮本裕美子氏 大阪AD/HDを考える会<のびのびキッズ

浜崎仁子氏 和泉市立鶴山台南小学校教諭

朝野 浩氏 京都市立西総合養護学校長

西谷 淳氏 甲賀郡甲西町立三雲小学校教諭

須田正信氏 大阪府教育センター特別支援教育研究室室長

安原昭博氏 関西医科大学附属香里病院小児科医師

司会 栢木隆太郎氏(大阪市教育センター研究官)

入場料 500円

シンポジウムのページ

<http://www.ceser.hyogo-u.ac.jp/naritas/jasen/sympo2004.html>

申し込みページ

<http://kansas.ceser.hyogo-u.ac.jp/jasen/2004sympo/entry/>

学会事務局ページ <http://kansas.ceser.hyogo-u.ac.jp/jasen/>

問い合わせ 兵庫教育大学学校教育研究センター内 成田 滋